

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 22 年第 2 回日本核医学会理事会
議事録

日 時：平成 22 年 5 月 7 日 (金)
15 時 00 分～19 時 00 分
場 所：タワーホール船堀 3 階 306 号室

出席者：

理事長：玉木長良
理 事：油野民雄，荒野 泰，伊藤健吾，
井上登美夫，尾川浩一，絹谷清剛，
汲田伸一郎，桑原康雄，小泉 潔，
佐々木雅之，宍戸文男，千田道雄，
中川原謙二，西山佳宏，畑澤 順，
本田憲業，望月輝一，山崎純一

監 事：小須田茂，阪原晴海

幹事長：志賀 哲

事務局：神田正子

欠席者：

理 事：竹田 寛 (敬称略)

議題

I. 審議事項

1. アジア研究奨励賞(資料 1)(桑原康雄理事)
日本核医学会アジア研究奨励賞の選考結果が報告された。応募者 3 名から Zhao Chunle 氏(中国)と Lee Su Jin 氏(韓国)の論文を委員会が選出したとの報告があり、承認された。応募者には選考結果を連絡し、受賞者は学術総会で発表を行い授賞式で副賞が授与される。
2. 技術系理事の選出(資料 2)(小泉 潔理事)
技術系理事の選出について説明があり、2 つの案が示された。次回の理事会(8 月 30 日)で選出方法、定款細則改定案を決定し、次々回の理

事会(11 月 10 日)で最終決定することとなった。

3. PET 核医学認定医の更新

(資料 3)(汲田伸一郎理事)

PET 核医学認定医資格更新制度に関する規程の改定案について説明があった。検討の結果、提案(資料 No. 3)通り改定することを決めた。さらに、更新に必要な単位数を減らすべきとの意見があることが紹介され、今後検討することになった。

4. 特別功労者 (資料 4)(小須田 茂監事)

第 50 回学術総会の開催を記念して学会に長期にわたり貢献いただいた会員に学会として感謝を表明することが提案されて特別功労者となることが承認された。特別功労者の選出方法について多彩な意見が出されたが、80 歳以上の名誉会員 18 名すべてを表彰し、賞状を渡すことが承認された。学術総会最終日に開催する 50 回記念式典で、特別功労者の代表として、久田欣一先生、鳥塚莞爾先生に参列をお願いすることとなった。

5. その他

第 11 回春季大会玉木長良大会長から参加費についての提案があった。来年は大阪国際交流センターで開催するため、会場費等が今年より増額することが説明され、PET 研修セミナー、核医学専門医教育セミナーの参加費を上げたいとの申し出があった。

PET 研修セミナー診療放射線技師コースは 18,000 円(現状通り)、医師・歯科医師コースは 2 日間参加の場合は 20,000 円に 1 日間参加の場合は 15,000 円にすること、核医学専門医教育セミナーも 20,000 円に値上げとなることが承認された。

II. 報告事項

1. 第 50 回学術総会状況報告

(資料 5)(本田憲業会長)

第 50 回の総会時の理事会は 2010 年 11 月 10 日 13:00~17:00 に決定した。

2. 第 51 回学術総会準備状況報告

(資料 6)(小須田 茂次期会長)

「CJK2011 のプログラム,抄録集を日本核医学会機関誌に綴じ込む」ことについて提案がなされ,承認された。参加費は核医学会会員 12,000 円,非会員 15,000 円(以上日本人),外国人 12,000 円の予定であることが報告された。特別基調講演は 8 題,市民公開講座は日野原重明(聖路加国際病院)先生を予定であることが報告された。

3. 第 52 回学術総会準備状況報告

(玉木長良次々期会長)

開催日程(2012 年 10 月 11 日~13 日)と会場(ホテルロイトン)についての報告がされた。

4. 第 10 回春季大会状況報告

(資料 7)(遠藤啓吾大会長)

参加者総数は 5 月 5 日現在 996 名であることが報告された。

5. 第 11 回春季大会準備状況報告

(玉木長良大会長)

開催日程(2011 年 5 月 6 日~8 日)と会場(大阪国際交流センター)についての報告がされた。

遠藤先生に感謝状は今度の総会の時に感謝状を出す方針を確認した。

6. 会計報告 (資料 8)(油野民雄理事)

月次損益報告書に基づいて会計報告された。遠藤啓吾大会長に感謝状を出す方針を確認した。

7. 委員会報告

1) 編集委員会 (資料 9)(絹谷清剛理事)

「ANM 発行を完全オンライン化の是非について」についての説明があり,「ページのチャージはおかしい」「字数制限をしたほうがよいのではないか」「カラーチャージを

Free にするほうがよい」等の意見が出された。編集委員会で検討することとなった。

2) 教育・専門医審査委員会

(資料 10)(汲田伸一郎理事)

核医学専門医, PET 核医学認定医, 教育病院の追加の認証審査を行い, 認証したことが報告された。核医学専門医試験の受験者がどのくらいいるのかという質問があり 69 名との回答があった。

3) PET 核医学委員会

(資料 11)(宍戸文男理事)

第 2 回 PET 核医学委員会の報告があった。

4) 健保委員会 (資料 12)(伊藤健吾理事)

平成 22 年診療報酬改定に関する疑義解釈について資料 12-1 の放射線治療以下の部分は厚労省のホームページには Up されていないとの説明があった。1.1), 1.2) に関しては引用元を明示して核医学会のホームページに載せ PET 分科会から全国の PET 施設に連絡を出すこととなった。放射線治療の項目に関しては公にしてよいか確認することとなった。

厚労省から FDG PET, PET/CT 診療ガイドライン 2010 に修正してほしい箇所があるとの指摘がありその説明があった。訂正は承認された。

資料 12-3 についておよび, 内保連のサブグループに要員を派遣し参加することについての説明があった。「内保連と外保連の両方に出すものに食い違いがあまりないようにすべき」との意見があった。

5) 広報委員会 (資料 13)(尾川浩一理事)

「日本核医学会 Web 会員データベース構成およびバージョンアップ」の説明があり, 承認された。

6) リスクマネジメント委員会

(望月輝一理事)

望月輝一委員長より現在特に問題がないので開いていないとの報告があった。前回

議論された「心臓の負荷検査時に医師1名と看護師1名を推奨すること」について速やかにガイドラインを改定することとなった。

「ある施設でSPECTのベッド台の隙間に指をはさんで数人が指を切ったとの報告」「患者さんはRI管理区域内でスリッパに着きかえる必要が法的にない」との議論があり診療に対するすべての副作用・問題点をリスクマネジメント委員会で検討してもらい、ガイドラインに反映していただき、定期的に改定していただくこととなった。

- 7) 放射線防護委員会 (本田憲業理事)
- 8) 倫理検討委員会 (竹田 寛理事)
- 9) 学会賞選考委員会 (桑原康雄理事)
日本核医学会賞，研究奨励賞の応募を行っていることが報告された。
- 10) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会 (荒野 泰理事)
放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会の報告があった。ガイドラインはほぼ完成したとのことで最終案を受けて作成委員会を開催することが報告された。
- 11) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会 (荒野 泰理事)
「病院薬剤師会と放射線技師会との間にRI製剤の調整にかかわる覚書が存在していたにもかかわらず何の進展もないこと」「認定薬剤師を考えるまえに放射線技師と薬剤師がRI製剤調整に関し一緒に作業ができる仕組みを作りたいこと」「病院薬剤師からの推薦人を得て進めて行きたい」との報告があった。
- 12) 将来計画委員会 (畑澤 順理事)
「PET/CT導入後の核医学専門医のアイデンティティをどうすればよいか」「核医学専門の医師だけではなく核医学を利用している医師・研究者を活性化すべき」「コメディカルへのRIの教育」「このままでは核医学は衰退するのではないか」などの意見

が出たが、他の理事より「臨床核医学は衰退していない」「現在働いている人の教育をどうするか」「日本医学放射線学会の専門医の業務には核医学診断は入っているが内用療法は入っていない。核医学の独自性のひとつはアイソトープ治療である」等の意見が出された。

- 13) 分子イメージング戦略会議 (井上登美夫理事)
「4月にキックオフ会議を開催したこと」等が報告された。
8. ワーキンググループ (油野民雄理事，千田道雄理事)
「ワーキンググループについては近々学会誌に掲載されること」「夏頃に新規のワーキンググループを募集すること」が報告された。
9. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (資料14)(絹谷清剛理事)
資料14についての報告があった。
 - 2) 日本脳神経核医学研究会 (畑澤 順理事)
「脳外科，神経内科，精神科の学会にてランチョンセミナーを開催すること」「日本医学放射線学会総会にて脳PETのワークインプロGRESSが開催されたこと」が報告された。
 - 3) 日本心臓核医学会 (山崎純一理事)
「心臓核医学会が6月25日に開催されること」の報告があった。
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (小須田 茂監事)
「4月22日三重県津市で開催されたこと」「今回の保険点数改正にてCOPDで処置1に組み込まれたのでパンフレットを作成し全国に配布して行きたい」とのことが報告された。
 - 5) PET核医学分科会 (千田道雄理事)
PETサマーセミナーについての報告があった。

10. 国外学会等連携

- 1) 世界核医学会 (玉木長良理事長)
9月19日～22日にケーブタウンで開催されることが報告された。
- 2) 米国核医学会 (玉木長良理事長)
6月6日～9日にソルトレイクシティで開催されること、今年も日米合同でシンポジウムが開催されることが報告された。
- 3) アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)
Jakartaで開催されることが報告された。
- 4) 日韓中核医学会

11. その他

- 1) 核医学専門技師認定機構 (小泉 潔理事)
8月7日に試験があること、確実に認定

技師が増えていることなどの報告があった。

- 2) 甲状腺 RI 治療委員会 (資料15)(小泉 潔理事)
I-131 治療を行うに当たって施設の構造設備基準に関する相談窓口を学会事務局に開設することが報告された。

III. 確認事項

1. 前回議事録 (資料16)
次回理事会は8月30日アイソトープ協会12時から16時まで、次々回理事会は11月10日13時から17時まで、その次の理事会は2月7日12時から16時と決定した。